



市内北西部に観光サイン看板 が設置されました！！

皆さん、ご存知でしたか？

東村山市では、来訪者の方々のおもてなしができる環境作りを目的に、観光サイン看板を各所に設置しました。

観光サイン看板の設置に向けては、市民の皆さんと協議を重ねるとともに土地所有者へ訪問・協力依頼し市有地以外にも設置するなど、関係各方面のご協力を得て設置させていただきました。（産業振興課）



観光サイン看板設置箇所	
矢印サイン	案内板サイン
~	~

（平成22年4月現在の設置箇所です。）



今後も、東村山駅周辺まちづくりの状況・動向は、このニュースでお知らせしていきます。東村山駅周辺での「こんなところが良い・・・」「こうすればもっと良くなるのに・・・」など、ご意見ご要望がありましたら下記までどうぞ。

問合せ先：東村山市本町1丁目2番地3 東村山市都市環境部まちづくり推進課

電話：042-393-5111（代表）内線2793 FAX：042-397-9438

メール：machi@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

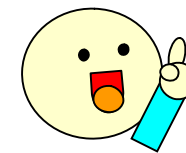
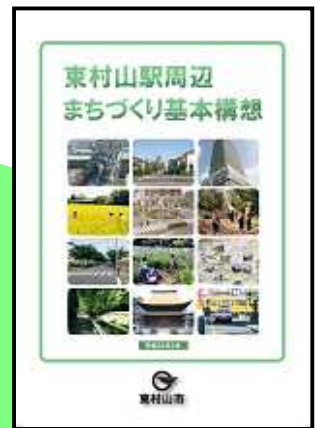
URL：http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/kakukaweb/039200/

higashimurayama/higashimurayama_index.htm

東村山駅周辺まちづくり基本構想

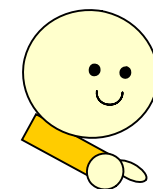
を策定しました（その2）

創刊号から取組状況や内容をお伝えしてきました「東村山駅周辺まちづくり基本構想」を、平成22年2月に策定しました。これは市民の皆さんに、様々な方法で策定作業にご協力いただいたおかげです。本当にありがとうございました。今号も引き続き、「東村山駅周辺まちづくり基本構想」を特集して、その内容をお伝えします。



東村山駅周辺まちづくり基本構想とは、市民、事業者、行政等がまちづくりの目標を共有し、各主体が行うまちづくりが、相互に秩序と連携をもって進められるよう共通の目標を定めたガイドラインのことです。今後は、この基本構想に基づいて東村山駅周辺のまちづくりを進めていきます。

今号は、ここです！



「東村山駅周辺まちづくり基本構想」の構成

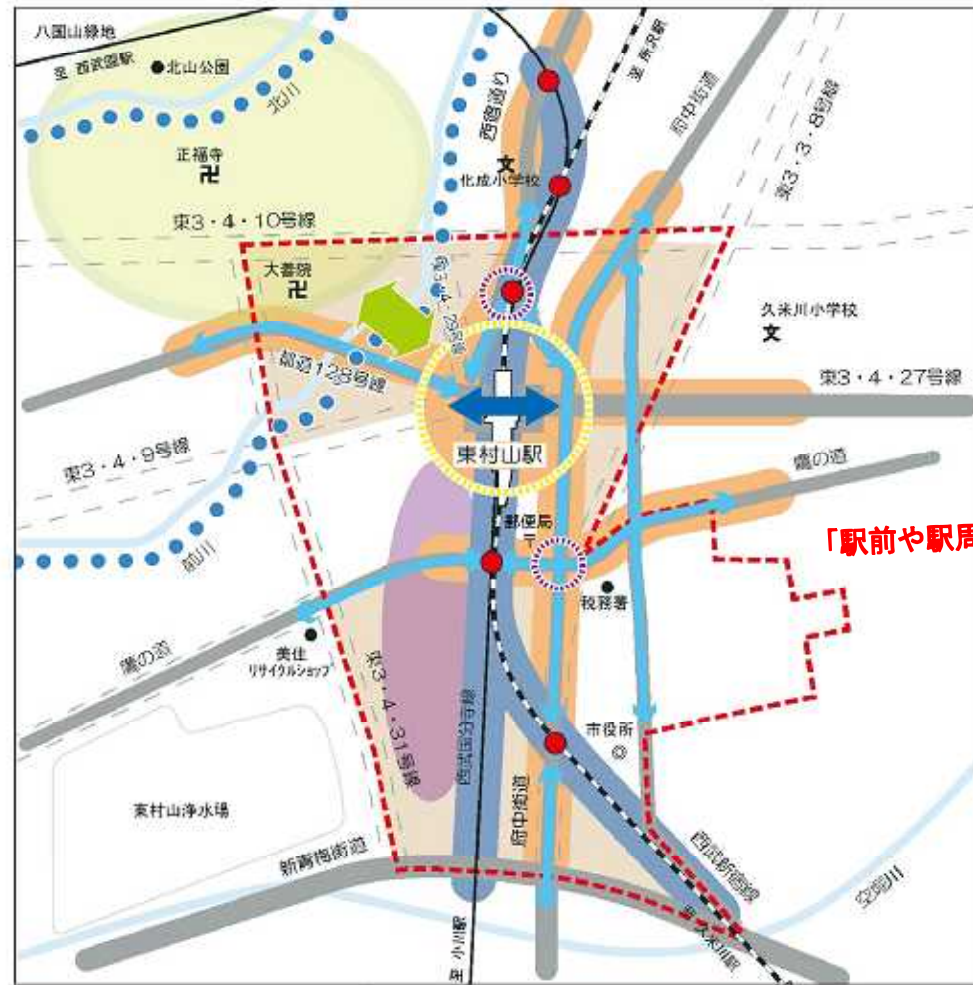
1 はじめに	基本構想策定の背景、区域、位置付け
2 これまでの経緯	策定経過
3 まちづくりの課題	東村山駅周辺における現状の課題
4 東村山駅周辺の将来像	まちづくりの方向性、東村山駅周辺の将来像
5 まちづくり構想	道路交通ネットワークと土地利用等の基本的な考え方
6 今後の進め方	まちづくり構想実現に向けた取り組みの考え方

3. まちづくりの課題

駅周辺の課題を絵と説明文で示しています。
課題は市民の皆さんの意見を基に4つに分類しています。



駅周辺における現状の課題を示します。



「駅前や駅周辺住宅地での街並みに統一感がない」
「駅周辺という立地に関わらず、土地が有効利用されていない」
などの意見がありました。

活性化・土地利用

- ① 地域特性に合わせた街並みの形成**
 - ・街並みの調和が取れていない
 - ・有効な土地利用がされていない
- ② 元気でにぎわいがある商店街の形成**
 - ・商店街ににぎわいがない
- ③ 緑の保全**
 - ・駅北西部に残る農地と他の自然資源を合わせた、緑の空間形成が必要

住環境・防犯防災

- ① 美しい街並みの形成**
 - ・電線が街並みの景観を損なう
 - ・良好な景観や残したい風景がある
 - ・水辺空間が活用されていない
- ② 世間話などができる交流の場の創出**
 - ・市民の憩いの場や休憩する場所がない
- ③ 安全・安心な住環境の形成**
 - ・行止りや細街路が多いと感じる
 - ・夜になると暗く怖いと感じる
 - ・豪雨時の排水が悪く道路が川になる

観光

- ① 観光資源へのアクセスとPRの強化**
 - ・貴重な自然・歴史・文化資源の回遊性が不足している
 - ・観光資源のPRが不足している
- ② 東村山の顔となるシンボルの創出**
 - ・ランドマークとなるようなシンボルやモニュメントがない
 - ・市民が一体となるようなお祭りやイベントを開催したい

「歩道がない」「歩道が狭い」
「踏切渋滞を解消して欲しい」
「生活道路が抜け道として利用されている」などの意見
がありました。

「北山公園までの行き方が分かりにくい」
「せっかくの観光資源が活かされていない」
などの意見がありました。

まちづくりの課題を踏まえて、まちの将来像を考えました。
こちら市民の皆さんの意見を基にしています。

4. 東村山駅周辺の将来像

まちづくりの方向性を下図にまとめます。

地域の個性を活かしたまちづくりを考えた結果、
大きく3つのエリアに分かれました。



緑あふれる北西部は、八国山緑地、北山公園など、市外からも多くの人々が訪れる地域です。また、自然環境に恵まれていることや、国宝建造物や縄文遺跡などの歴史文化資源も多く、観光資源が豊富なことも地域の特色です。この地域特性を活かし、東村山駅周辺のにぎわいから、広がりを持たせた観光と癒しのあるまちの形成を目指します。

東村山駅周辺は、誰もが集まれる緑豊かな交流の場として、にぎわいの創出を図ります。そのために必要な商業施設や商店街の活性化を図り、日々のくらしが更に輝くよう、市の中心核機能を高めていきます。

行政施設が多く集積する地域であることを活かし、新たな起業、産業創出につながる企業誘致に努めます。そこから、地元雇用の促進や、周辺の住環境と共に、働き暮らせる職住近接の未来につながる新たな都市の形成を目指します。

まちづくりの方向性を踏まえ、東村山駅周辺の将来像を以下に示します。

「出会い」「ふれあい」があり、ぶらぶらと歩いて楽しいまち

市民の皆さんの想いが集約された将来像となりました。

東村山駅周辺の将来像

- 水や緑が豊かでうおいのあるまち
- 日常生活に密着した商店街に元気のあるまち
- 誰もが安心して住み続けられるまち

将来像の実現に向けて取り組む内容は、アンケート結果を中心にまとめました。アンケートでは、大人の意見も、子どもの意見も一致する結果になりました。東村山市に住む誰もが、こうなりたいと感じている想いを大切にしていきます。

